

# とみとく 進路だより



富岡特別支援学校  
移行支援部 No.8  
令和2年1月30日(木)

1月21日、PTA 進路講演会を行い、14名の保護者の方に参加していただきました。  
「先輩お父さん・お母さんの話を聞いて、将来へのイメージを広げよう」と題し、講師に3名の方をお迎えし、お話をしていただきました。

講師 ● 須田 みどり 様 富岡市在住

お子様について 平成22年度 高崎特別支援学校高等部卒業  
社会福祉法人青嵐会せいらん生活介護に通所

● 野尻 圭江 様 安中市在住

お子様について 平成29年度 高崎特別支援学校高等部卒業  
ロイヤルデリカ株式会社に通勤

● 神戸 誠次 様 富岡市在住

お子様について 平成27年度 富岡特別支援学校中学部卒業  
平成30年度 高崎特別支援学校高等部卒業  
パーソルサンクス株式会社とみおか繭工房に通勤



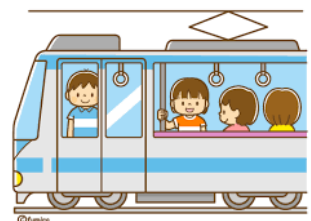
## 講師のお話より

### 1 在学中の様子

- ・ 小さい頃は、おとなしく手がかからなかったが、小6から反抗期になり、家でも外出先でも暴れるようになった。校医や精神科に相談したが、「お母さんが厳しすぎる」と言われ、対応に悩んだ。服薬することで落ち着き、一年半後に薬を止めた。

### 2 支援機関、学校外の活動

- ・ 移動支援を利用し、月一回グループで外出して余暇を楽しんでいる。
- ・ 「サポート2000」で毎週日曜に外出している。
- ・ 緊急時は入所施設で泊まれるように登録している。



### 3 進路選択、就業体験（現場実習）、保護者の協力

- ・ 福祉施設の中で選択するとき、仕事内容だけでなく、子どもが好きな活動があることを重視した。親がいつまでも送迎できるわけではないので、送迎サービスがある事業所は助かる。
- ・ 事業所の職員さんを頼りに進路選択すると、その方が異動や退職をされる場合が多々あるため、人ではなく内容で選ぶことをお勧めする。
- ・ はじめから一般就労（企業への就職）を考えていたわけではなく、様々な福祉施設や特例子会社などの実習を重ねるうちに、適性にあった職場に出会うことができた。
- ・ 実習先での仕事の用具を借りたり、真似して作ったりし、学校でも家庭でも練習した。

- ・ 自力通勤ができるように、できるようになるまで親が付き添って通勤練習をした。利用する駅や乗車するバスの運転手さんに事情を説明し、配慮のお願いをした。

#### 4 卒業後の生活

- ・ 職場に入るために必要なタイムカードを忘れたため、行方不明になりパニックになったことがあった。それ以来、持ち物チェック表を作り、毎朝確認している。
- ・ 卒業後数年がたち、家庭の状況が変わった。新しい生活に慣れるまでに苦労はあった。
- ・ 親が「できない」と思っていたことが、集団生活の中でできるようになっている。
- ・ 学校卒業後は運動不足になって太りやすいので、休日はウォーキングをしている。
- ・ 体調の変化は自分で言うことは難しいので、親が気をつけてみている。



#### 5 障害基礎年金

- ・ 一級は月 8.1 万円、二級は月 6.5 万円受給している。申請は 20 歳の前日からできる。医師の診断が必要なため、早くから発達の相談をする主治医がいると良い。
- ・ 申請用紙に、生まれたときからの障害等の記入をするため、今できないことや困ったことなど、ありのままをその都度記録しておくとうい。在学中から情報をためておきたい。

#### 6 学校に通っている間にしておきたいこと

- ・ 進路については、学校の行事に参加し情報を集め、先生との信頼関係を築くことが大切。
- ・ 自分のことは自分でできるようにしてほしい。生活リズムを整えてあげてほしい。
- ・ おはしを使えること、あいさつできること、敬語で話せること。
- ・ 周囲の人と円満な人間関係が築けると良い。雰囲気を合わせたり、協調したりできると良い。
- ・ 困ったときに助けを求められるようになると良い。
- ・ 家族の一員として必ず役割、仕事があると良い。できたらたくさんほめてあげてほしい。愛情をかけてかけすぎることはない。
- ・ のびしろはあります。20 歳過ぎても成長します！

#### 参加者の感想より



来て良かったです。いろいろな体験談が聞けて、今から準備していくべき内容など理解できました。



皆さん色々苦勞してきているんだなあ、自分の家だけが大変な思いをしているのではないんだな、と思えました。



とても中身の濃い講演でした。将来に向けての方向性がわかって良かったです。